

堺市新進アーティストバンクとは

Message

今日、音楽家や美術家をはじめとするアーティストが社会から期待される役割はたいへん広がってきています。アーティストとは、作品やパフォーマンスを通じて人々の心を動かし、人生観を変え、次の暮らしや社会のあり方を予感させることができる存在です。またそれだけでなく、ワークショップを通じて学校で子どもの学びを深め、あるいは子ども食堂で子どもたちの間に新しい人間関係を結びきっかけを作ることができます。そして、こうしたワークショップでの経験から、アーティストは次の表現の形を見つけることがあります。この意味で、アートと社会は強く結びついていると言えます。

次世代を担う若いアーティストの皆さんが、地域や社会とつながりながら創作や表現の幅を広げていくことで、新しいキャリアを自ら見つけ出す機会として、堺市新進アーティストバンクへのご応募をお待ちしています。

公益財団法人堺市文化振興財団
理事長

服部 一史

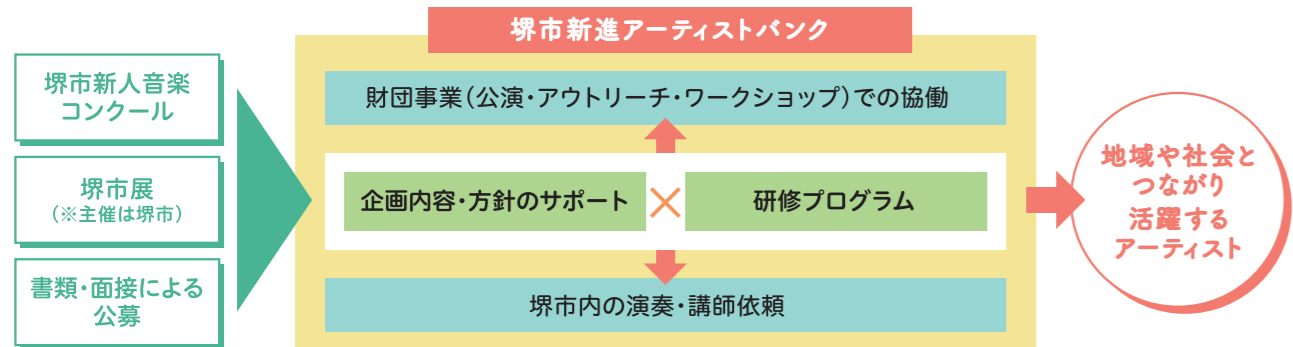
About

堺市新進アーティストバンクとは、「地域や社会とつながり、ワークショップ・アウトリーチ等の様々な企画を提案・実施できるアーティストの育成」をめざして、登録者に向けた、財団主催事業の出演・講師依頼、各種研修プログラムの提供、および堺市内における出演・講師依頼のマッチングを行う制度です。

バンクでの活動を通して、小・中学校やこども園、子ども食堂などの現場でワークショップやアウトリーチの経験を積んだり、企画書作成やMCのスキルを磨いたり、ワークショップやアウトリーチの歴史や方法論を学んだりすることができます。また、日々の活動の中で、様々な現場でコーディネート経験のある財団職員から、企画・実践内容や活動方針についてフィードバックやサポートを受けることができます。

登録者には、自身の技術・表現・発想力を基礎として、活動の中で企画や実践に関するスキルを高め、また教育・福祉・医療など地域の多様な主体とのつながりを作ることで、将来的なキャリアの選択肢に関する幅を広げていただければと思います。

なお本事業は、自由都市堺文化芸術まちづくり条例第13条、および第2期堺文化芸術推進計画重点的方向性2-2に該当する事業として、堺市補助金を活用して実施されています。



2023年度 登録アーティスト 募集要項

1. 募集部門

音楽部門

クラシック音楽(声楽含む)、ジャズ、ロック、現代音楽、邦楽、民族音楽等

美術部門

絵画、造形(彫刻)、写真、染織、陶芸、版画、映像、インスタレーション等

2. 応募条件

- 2023年4月1日時点で20歳以上40歳未満であること
- 堺市内で積極的に活動できる状態にあること(住所・勤務地は不問)
- 企画書・報告書等を作成するための基本的なパソコン操作スキルがあること

※過去に登録があった方は応募できません。
※グループ/コレクティブでの応募も可能です。その場合、登録期間中は登録時点のメンバーで活動することが条件です。ただし、過去に登録があった方をメンバーに含むことはできません。

3. 登録期間

登録月から5ヶ年

4. 選考方法

- 書類審査、動画/ポートフォリオ審査及び面接審査による選考
- 応募書類等

- 登録申請書
- 履歴書
- 応募理由書
- 模擬企画書
- 推薦書(1通)
- 音楽部門** 5分以内の演奏・パフォーマンス動画(データもしくはDVD形式) **美術部門** 作品・パフォーマンス等が分かるポートフォリオ(様式自由)
- その他、ご自身の活動・経歴を説明する資料(任意)

- 募集人数:各募集で両部門それぞれ5名程度(定員は登録者の活動状況により調整)
- 提出方法:メール送信もしくは郵送
- グループ/コレクティブで応募する場合、②履歴書はメンバー全員分の提出が必要となります。

5. 選考の流れ

	受付期間	面接	最終結果通知	登録月
第1次募集	4/15~5/15	6月上旬~中旬	6月下旬	7月
第2次募集	8/15~9/15	10月上旬~中旬	10月下旬	11月
第3次募集	12/15~1/15	2月上旬~中旬	2月下旬	3月

※応募書類等は各受付期間の最終日必着

6. 提出先/お問い合わせ先

〒590-0061 堺市堺区翁橋町2丁1-1 公益財団法人堺市文化振興財団 堺市新進アーティストバンク担当 宛
MAIL jigyosakai-bunshin.com TEL 072-228-0880(平日9:00~17:30) FAX 072-228-0115

7. 注意事項

- 応募書類はホームページからダウンロードしてください。 <https://www.sakai-bunshin.com/artistbank/artist-recruitment/>
- 書類審査、動画/ポートフォリオ審査を通過した方のみ、面接審査に進むことができます。
- 選考結果はメールで通知します。 ●面接は日本語で行います。
- 提出された書類、動画/ポートフォリオは返却できません。また、選考結果に関するお問い合わせには一切回答できません。
- 応募条件及び記載事項等に虚偽があった場合は、採用を取り消します。
- 応募の際に取得した個人情報は、公益財団法人堺市文化振興財団個人情報保護規程に基づき、適正に管理し、採用選考及び採用に関する事務以外の目的への利用は行いません。ただし、採用者の個人情報は人事情報として使用します。
- 過去3年度以内の堺市新人音楽コンクール(旧堺市新人演奏会)及び堺市展入賞者は、入賞特典としてすでに登録資格があります。詳しくは入賞時にお送りした案内をご確認ください。

応募書類のダウンロードはこちら



お問い合わせ先

〒590-0061 大阪府堺市堺区翁橋町2丁1-1
公益財団法人堺市文化振興財団 事業課
jigyosakai-bunshin.com tel.072-228-0880



堺市 新進アーティストバンク 登録アーティスト 募集要項

2023年度

堺市新進アーティストバンク

アーティストの活動内容

子育てサークル・こども園等へのアウトリーチ

子育てサークル等を対象とした0歳から親子で参加できるプログラムや、こども園等での乳幼児向けの活動を行っています。
子育てサークル等では、手遊び歌で参加できるコーナーも設けて親子と一緒に楽しめる内容を用意しています。こども園等では、子どもたちがのびのびと楽しく文化芸術に触れ、またアーティストと関わることで新たな発見が得られるような音楽・造形などの体験プログラムを登録アーティストと企画・実施しています。



小・中学校へのアウトリーチ

小・中学生を対象に、学校やクラス、子どもたちのようすに合わせてプログラムを企画・実施しています。
先生との打ち合わせを経て、プログラムがクラス全体や子ども自身にとってどんな場に行けるかを多角的に考えます。令和4年度は一般的な正答のない芸術だからこそできる「どんな音が鳴らせるだろう」というところに着目した楽器遊びや、形を押しながらイメージを広げていく染色ワークショップ等を実施しました。
実施後にはふりかえりを行い、プログラムの進行や子どもたちの様子について、先生の視点からのフィードバックをいただきます。



子ども食堂へのアウトリーチ

子ども食堂でのワークショップでは、アートを通じて子ども食堂の「居場所としての機能」を高めることをめざして、アーティストと子どもたち、そして食堂に関わる方々とのコミュニケーションを深める場づくりに取り組んでいます。
染物や鉄琴づくり等、その日限りの特別体験を実施したり、音楽ワークショップを通してひとつの食堂に同じアーティストが年間関わることで、子どもたちの成長や変化に立ち会ったりしています。



市民イベントへの出演／講師依頼

事例紹介

- 市役所・区役所でのコンサート出演
- 子ども向け 造形ワークショップ 講師(フェニーチェ堺など)
- 子育てサークルでのコンサート 出演 など



実践研修プログラムとは

堺市新進アーティストバンク音楽部門の登録者を対象に、地域や社会とつながり、様々な趣旨・対象のコンサートを企画運営できるアーティストの育成をめざして実施される研修事業です。
与えられた課題に沿ってコンサートを企画し、専門家からのアドバイスを受けながら準備・運営・出演するなかで、アーティストとして必要なスキルを学びます。

基礎研修 (令和4年度)

企画書書き方講座

財団職員が講師となり、「企画書作成」を1から学ぶ講座を開講しました。
企画書の読み手が納得する企画書の書き方のポイントを紹介したほか、参加者が事前課題で作成した企画書についても個別にアドバイスをを行いました。企画書の読み手の立場に立つ書くことの大切さと、伝え方の工夫を学べたとともに、他の参加者の企画書を見ることで多くの気づきを得られた講座となりました。

アウトリーチ基礎講座

アートの場でもよく聞かれるようになった“アウトリーチ”ですが、その定義は非常にあいまいで、現場に携わっている方々でさえ、“アウトリーチ”から連想することは様々です。そこで、演奏者としてさまざまな現場で活動されている安達梨紗さんを講師としてお迎えし、多様な事例を紹介していただきました。
また、アウトリーチとワークショップの手法の違いを比較することで、それぞれのイメージがより明確になりました。

MCがもっと上手になる! 話し方講座

講師は声楽家の谷田奈央さん。文化庁学校公演の司会等でも活躍されています。
対象にわかりやすく「伝える」話し方を意識し、原稿を読むのではなく、「話す」「語る」というMCの役割や、「さて」「では」でない、次の演奏への運び方等、リアルな現場を想定した話し方を学びました。
「保育園で3〜6歳の子どもたち」「老人福祉施設で高齢者」の設定で、行き先に合わせた自己紹介・曲紹介を受講者で考えるコーナーもあり、実践も交えた講座となりました。

